



赤磐市議会だより

平成24年6月議会 第29号



6月議会のあらまし	2P
委員会のうごき	4P
10人の議員が一般質問	7P
岡山シーガルズを応援する 議員連盟を発足しました!	13P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

発行 平成24年8月2日 編集／赤磐市議会広報編集特別委員会 所在地／〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地 TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348



6月議会のあらまし

議案審議

6月定例会を、6月8日から6月29日まで、22日間の会期で開催した。人事案件1件を同意、報告案件3件・承認案件2件を承認、議案11件を可決した。

報告案件

平成23年度一般 会計予算繰越明 許費計算書

問 災害復旧費の農地災害復旧事業および農業用施設復旧事業について、平成23年9月の台風による農地災害および施設災害の復旧費を3115万円繰り越し、どちらも5月末に完了したとなっているが、田植えには間に合うのか。今年は河原屋頭首工の調子が悪く水が不足しており、だましまし使っているような状態と聞いているが、水が

来ずに田植えができないようなことにはならないか。

答 施設および農地の災害復旧については、地元の協力を得て順調に工事が終わっており、田植えには支障がないと聞いている。

問 農林水産業費の団体営ほ場整備事業について、地元調整に時間を要して年内完了が困難になったため繰り越しを行い、草生地区の完了予定は6月末であるとの説明があったが、草生地区の区画整理の時に水が全く送れな

くなり、苗代水ができなくて困ったということがあった。今ほ場整備している箇所についても田植え水を上げるときに支障がでるようなことにならないか。また、そのようなことにならないよう十分指導してもらいたいかどうか。

答 草生のほ場整備の段階で、水道管移設工事および水路工事をする関係で苗代水に支障をきたしたということが事実あった。土地改良区の理事や関係者の意見を聞きながらやるのが鉄則であるが、そういった配慮に欠けていたという報告を受けている。業者が各地域に行く場合はそれぞれの地域の状況に詳しい人の意見を聞かなければなら

ないし、その仲介を市役所がするというのも鉄則である。大変迷惑をかけたことをお詫びする。

問 学校耐震補強事業について、山陽西小学校の耐震補強設計と山陽東小学校および高陽中学校の耐震補強工事・施工監理

が繰り越しされるということだが、ある小学校では体育館の耐震補強工事が済んだ後も上の方がちよつと危険な状態にある。耐震補強のときに一緒に改修できないのか。

答 今後、壁などについて大規模改修が見込まれる学校もあるが、現在は耐震補強を優先的にやっているため、一緒に改修は行っていない。今後取

り組んでいきたい。

問 耐震診断をするときに修繕が必要な箇所もわかるのではないか。せっかく耐震補強工事のために足場を組んでいるのだから、あわせて改修するのは検討の余地があると思うがどうか。

答 一緒に工事ができれば一番合理的だが、現在繰越明許して報告しているものに新しい工事を付け加えることはできない。今後、躯体ではない部分の耐震について調査をし、工事がいくらかかるかを出して、議会の議決をもらおうということになる。今回繰り越しをしたもので一緒に工事をすることはできない。



一般会計補正予算

問 わかたけ作業所の改修内容および利用状況について説明を。また他の施設の整備状況は。

答 現在市内には地域生活支援センターが4施設あり、山陽総合福祉センター内の「ももっこ」、移転した「太陽の家」、吉井の「つつじ」、そして今回改修の町茹田にある「わかたけ」である。

3 施設の整備について
「つつじ」は、国の自立支援交付金で3年程前に改造。「ももっこ」は、5年ほど前に交付金で1部屋増築。「太陽の家」は、西山幼稚園の跡地利用で5月に移転オープンした。わかたけ作業所の登録者数は40人で1日平均の利用者は15人。今後見込まれる登録者数や利用者の増加による増築と、防火間仕切り構造に改修する。今後については、就労

継続支援B型への移行も視野に入れて、増築部分は利用者の食堂並びに休憩室として利用する他、

新たな試みとしてコミュニティカフェおよび高齢者向けの配食サービス等を実施する予定である。

増築部分の土地は寄贈されたので、合併特例債2910万円を財源として実施する。

問 ごみ処理施設周辺整備について説明を。今後の要望、対応はどうなるか。

答 コミュニティハウスの新築について当初の計画より前倒しして24年度にと区長より要望があったので、工事費2000万円、用地測量1000万円、土地購入310万円、既設車庫の移転150万円、憩いの森までの水道工事330万円となっている。

今後の要望、対応については、「覚書」により事業を実施する。具体的に推進する中で出される軽微な要望等についてはその時に対応していきたい。

問 市道の正崎高屋中道線をどのように改良するのか、計画内容の説明を。

答 正崎橋の押しボタン式の信号機のある場所で、現場は横断歩道を渡ると待機スペースもない状態なので、できれば3m程度の待機場所を設けて余裕のある交差点にしたい。ひいては感知式の信号設置ができるよう改良を進めたい。

問 新規就農総合支援事業補助金の内容説明を。

答 新規就農者の確保と定着を図るため、今年度から国が進める事業である。この事業は、①新規就農者を支援する青年就農給付金事業と②新規就農者を雇用した農業法人等を支援する農の雇用事業の2つからなる。その

中で①については準備型（県が実施主体）と経営開始型がある。今回の補正は市が実施主体の経営開始型である。経営開始直後で経営が安定していない新規就農者に年間150万円、最長5年間の交付を行うものである。補助金の交付を受けるためには、45歳未満であることや、前年の所得が250万円未満であるなど、さまざまな要件を満たす必要がある。

問 コミュニティ助成事業助成金380万円の説明を。また、この助成金は今回2地区だけか。

答 財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動の充実強化を図るための助成事業であり全額の補助である。5地区申請し2地区（穂崎区・小原上区）が採択された。前年度不採択となったが再度申請して採択された。

内容は穂崎区が祭り用品200万円、小原上区

が音響用品180万円である。



次のとおり同意した。

固定資産評価員

藤原 義昭（正崎）

総務文教 常任委員会

6月19日に総務文教常任委員会を行った。
議案7件について審査した。

財産の取得

問 高規格救急車の車両価格がどれくらいか。

答 大体1500万円程度が通常の相場で、積載品はおよそ2000万円程度が過去の実績となる。



新たに配置される高規格救急車（東出張所）

答 東出張所の車両と入れ替えをして配置する。

工事請負契約の締結

防災行政無線デジタル化

問 1社だけで入札が成立するというのは納得できないが。

答 一般競争入札条件付きという入札形態をとった。入札を行うにあたり公告を打ち、広く知らしめた中で結果として1社となったので、競争性が保たれていると判断して成立とした。

問 落札率92・6%という説明があったが、以前の時の率と比べてどうか。

答 市の入札は変数を

答 山陽は指名8社のうち辞退が6社の結果2社応札で落札率が92・85%。吉井は応札5社で98・09%。赤坂は指名7社のうち辞退が4社の応札3社で落札率が88・88%だった。

問 戸別受信機で、故障のメンテナンスはどれくらいあるのか。

答 故障はそれほどない。壊れた時には予備のものを取り換えるので本人に支障はない。

統合学校給食センター（仮称）建設

問 入札失格者が多いのが問題だ。国土交通省等の方針に基づいて最低価格の設定をしているので仕方がないと思うが、これからは十分やり方を考えてもらいたいだろうか。

答 市の入札は変数を

答 市は変数を

使っている。今回入札に参加した業者全員が変動の幅の中に入っているの、その中でどれになるのかというのを選択したということである。電子入札になってもシステムの中で変数の変動幅が出てくることになるので理解してもらいたい。

問 なぜもう少し変動の幅を狭めないのか。市はよそと比べてどう考えているのか。

答 もう一度幅等については検討する。

問 調理器具が入ると全体で給食センターの建設はいくらになるのか。

答 建築以外で発注する消耗品、備品が約1億円程度ある。

条例改正

問 事務分掌条例で登録証がいらなくなるということか。

答 従来あった外国人登録証がなくなり住民票を交付するようになる。

問 いま市にどれくらい外国人がいるのか。

答 4月時点で244人である。

一般会計 補正予算

問 繰越明許費補正で、消防庁舎本体工事が10カ月かかり来年の3月を越すということ、今回ここで繰越明許費を出すということか。

答 当初は25年の3月末を予定していたが、それぞれの調整で手間取りスケジュールが全体的に遅れて、25年の6月末を工期として計画を進めている。

問 海外訪問団派遣事業委託金について、どうして急に予算を組み替え、方法を変えるような事態になったのか。

答 当初予算の組み方が間違っていた。職員について、旅費で支給し、子どもに

ついては旅行業法の関係で旅行業者との定款約款により旅行社に払うということ、直させてもらった。



統合学校給食センター建設現場（沢原）

厚生 常任委員会

6月20日に厚生常任委員会を行った。
議案4件について審査した。

条例改正

印鑑登録及び証明 に関する条例

問 「氏名のカタカナ表
記またはその一部を組み

合わせたもので表される
印鑑により登録を受け
る」とは、カタカナと英
語を入れることもでき
るのか。

答 住民基本台帳に登録
をしてあるものに限つ
て、アルファベットなど

も印鑑に利用すること
ができる。

問 外国人登録法の廃止
の目的は何か。

答 基本的に外国人は入
国管理局と市町村の窓口
と2通りに手続きをして
きた。今後、入管が在留
カードを発行するので市
町村はカードにより適正
な在留者という認定で住
所異動をかけるため報告
をする必要がなくなる。
また、外国人と日本人の
住所管理が一緒になるの
で外国人を世帯主に登録
することができたり、家
族全員の住民票を一度に
とれたりすることになる。

一般会計 補正予算

問 コミュニティ助成事
業助成金は、5地区のう
ち2地区が決まったとい

うことだが、金額がいく
らでも補助率は10分の10
なのか。

答 限度額は一般コミュ
ニティ助成事業で100
万円から250万円であ
る。決定は自治総合セン
ターが行う。各地区から
出てきた申請については
すべて申請している。

問 決まる基準は何か。

答 事業の中の1つに一
般コミュニティ事業とい
うのがあり、コミュニ
ティ活動に直接必要な設
備の整備に関する事業と
いう定義である。ほとん
どは、カラオケ、お祭り
用品である。従来は申請
数が少なかつたため全部
採択されていたが、最近
になって採択数がだんだ
ん減っている。岡山県の
場合は、約1億円で、毎
年40〜50団体が申請をし
ている。市町村の balan
ス、内容のバランスによ
りセンターで採択を決め
ている。

問 児童公園の申請の場
合は難しいのか。

答 昨年西山団地の公園
の遊具を整備した。遊具

もコミュニティの設備と
して対象になる。しかし
土地購入などの基盤は難
しい。

問 児童手当のシステム
改修費用について、子ど
も手当から児童手当に変
わったことにより、対象
者に変動があると思う
が、どうか。

答 今回6月8日に支給
した2月・3月分の子ど
も手当が児童数5643
人、保護者が3099件、
4月・5月分の児童手当
が児童数5487人、保
護者が3164件である。

問 わかたけ作業所はこ
れからB型に申請するの
か。申請におい
て基準がなにか
あるのか。

答 B型への申
請にはいたって
いないが、1日
も早く移行した
い。移行すると
障害者の事業所
として個別給付
がもらえ収入増
となり、運営も
楽になる。今後
は、管理者の資

格、サービス管理者や相
談員の基準があり、人員
的に今の指導員の体制か
らサービス管理者を増や
す必要がある。定員は20
人以上が基準で、職員の
配置基準ができれば申請
する。

問 配食サービスをする
ようになっていくが説明
を。

答 赤坂地域には1人暮
らし等の高齢者を対象に
した配食サービスの委託
業者が1事業者しかない
ので、将来的には、弁当
を作って通所者が配達
し、配食サービスに参加
してもらいたい。



コミュニティ助成事業で整備した遊具（西山団地内）



わかたけ作業所（町苅田）

産業建設 常任委員会

6月21日に産業建設常任委員会を行った。
議案2件について審査した。

土地改良事業 の施行(変更)

問 地元負担はいくらか。
答 下水道関連事業のため地元負担はゼロである。

問 ほ場整備は個人のものだから、地元負担をゼロにするのは問題だ。負担をもう少し地元からもらうようにしなければ財政的にやって行けないと思うがどうか。



交差点改良予定の正崎橋周辺

問 農業振興費の農村活性化推進事業費補助金について、岡地区の中山間地域振興組合がオス羊1頭、メス羊5頭を使って放牧し、来年度はバリカンと糸紡ぎ機を購入する予定になつているが、来年度は何頭の子羊

一般会計 補正予算

答 地元負担をゼロとする内容で地元と覚書を交わしているため、今から変える事は難しい。今後については全般的に受益者負担の見直しは必要だと思つるので、地元負担割合等についても検討していかなければならないと思つている。

問 今回の事業について市として募集等はしていないのか。
答 事業者が県の事業を自分で調べ取り組みたいと言ふ事で今回予算計上している。
問 行政としてPRし、赤磐市全体でやって行きたいという事を区長会や広報等で知らせる事はしないのか。
答 今回の事業は単県事業である「農山村・棚田地域」農力「再生事業」としておこなひ、市とし

ても耕作放棄地対策および担い手対策についても区長なり関係団体と協議しながら、全市的に取り組めるようPRも含め推進したい。

問 道路改良費について、正崎の交差点を改良するとの事だが、以前将来的に正崎橋を付け替え、正崎から熊崎への道を新設するとの話を聞いているが、その関連か。
答 正崎熊崎線は社会資本整備総合交付金事業として今も計画している。東日本大震災の関係で新規事業に予算が付きにくくなつているが、引き続き要望していく。今回の計画には関係ないが、全国的に子どもを取り巻く交通事故が多発していることから、まずできることから危険回避という観点で、交通安全施設の改良を予定している。
問 橋の付け替えや拡幅をしないで、信号を押しボタンから感知式に変えただけで効果があるのか。
答 子どもの安全な通行



7月7日の水害(正崎・こぶ川周辺)

を確保するため通学児童の退避場所を作り、車両の通行をスムーズにする改良をし、車両から一旦下車してボタンを押す状況から回避するため感知式信号を要望する。
問 感知式信号にしたなら車の対応が便利になるだけで、通学路は逆に危険になる可能性がある。また、細い道から出る車が増え、岡山吉井線の車が止まる事が増え、渋滞等がかえって危なくなるのではないか。橋が広がらなければ安全にならないと思うがどうか。
答 水害の回避、交通のスムーズな通行と言う事

問 補償、補填及び賠償金について、一部の部川の農業用取水ゲートの件で、水利組合に支払いをする内容は。
答 河川改修に伴い従来からある施設に新たに維持管理費が発生し、県が向う10年間差額分を補てんする。

で、引き続き正崎熊崎線については強く県や国に要望する。現状押しボタンの信号で、正崎から県道に出るのが非常に危険な状態であるため、スムーズに出るためには、信号が赤になつてから出る方が事故の回避につながると思つるので感知式を要望する。

一般質問

市の考えを問う



10人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問 企業誘致に伴う
市内雇用の働きかけは

答 企業に機会あるごと
市民の雇用をお願いする



北川勝義議員

問 前回一般質問した①
国道484号線の改良②
特産品小包、ふるさと宅

急便③こつそり堂の対応
④備作高校跡地利用の進
捗状況はどうか。

答 ①県が継続して工事
をしている。美作岡山道
路の吉井インターは29年

ごろ開通見込み②商工会
や農協などと連携し検討
する③土地所有者に契約
状況を確認し撤去の依頼
を検討する④どういった
活用が出来るか検討する。

問 市民病院を核とした
診療所等、市全体の医療
体制を考えるべきでは。

答 地域医療ミーティン
グ協議会を設置し、市
の医療体制を検討する。
佐伯北診療所は吉井支所
付近が望ましい。

問 津崎地区へ建設のこ
み処理施設の進捗状況は。
答 7月中に造成工事に

着手し、順次建設工事に
取りかかる。

問 企業誘致で①USS
等の事業の進捗状況は②
工業団地を造成する計画
は③NTN赤磐工場の進
捗また市内雇用はどうか。

答 ①建物の着手は25年
末、操業開始は26年末を
目標②候補予定地を何箇
所か整理している。吉井
地域の企業誘致に力を注
ぐ③8月操業を予定。市
民の雇用をお願い
する。

問 仁堀出張所の
廃止に伴う公共交
通を確保と地域の
活性化はどうか。

答 コミュニティ
拠点のあり方や住
民の交通の便の確
保等の課題の方向
性が出た段階で対
策をとる。

問 入札で①市内



雇用が期待されるNTN赤磐工場（釣井地区）

答 検討して活用できる
ものは今後活用したい。

問 使わないような財政
調整基金を一括したらど
うか。

答 ①市内業者を優先し
た業者選定を実施してい
る②発注仕様書に市内業
者に発注するように記載
し、お願いしている。

業者の育成は②下請けは
市内業者を優先すること
はできないか。

表紙のひとこと

7月7日の豪雨災害（出屋地内の砂川）

活発な梅雨前線の影響で、7月6日から7日の未明にかけて赤磐市内で雷を伴う豪雨が降り、正崎の106世帯274人に避難勧告が出るなど大きな被害がもたらされました。

仁堀では7日午前6時までの24時間雨量が142ミリを記録し、土砂崩れや冠水被害といった災害が相次いだことから、赤磐市の水防対策の重要性を改めて認識しました。

問 赤坂地区への下水道整備は どうなっているか

答 まだ、かなりの 年数がかかる



金谷文則議員

問 赤坂地区への計画はどうなっているのか。いつできるのかわからない、10年〜15年先かもしれないということでは、問題ではないか。今まで、赤磐市全体でどれだけのお金が投入されたのか。そして、どれだけの利子などを払い、どれだけの利用料金を徴収しているのか。

答 当初の計画より相当遅れている。財政難のため、年々実施額を抑えて

いるので、既認可地区の完了までまだかなりの年数がかかる。本年度は、26年度以降の整備のため、計画の変更認可を受ける手続きを行い、事業の認可期限や計画を見直し、事業の推進に努める。22年度末で整備に要した費用は367億1395万円余り。起債残高は168億2105万円余り。本年度の起債償還金は、元金と利子で9億5087万円余り。使用料収入は公共・特環・農集をあわせて3億7819万円を見込んでいます。

問 国の電力全量買い取り制度が決まった今、桜が丘東1丁目の未利用地へメガソーラーを誘致し、

その周辺へ平素市民が利用でき、災害時は避難用として利用できる施設を整備してはどうか。

答 国の電力全量買い取り制度が決まった今、桜が丘東1丁目の未利用地へメガソーラーを誘致し、

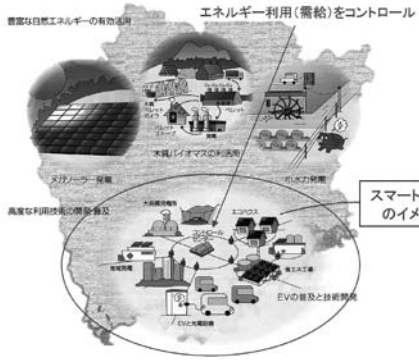
その周辺へ平素市民が利用でき、災害時は避難用として利用できる施設を整備してはどうか。

問 山陽清掃センターの跡地利用はどうするのか。

答 地元協定書等で今後協議する。



赤坂清掃センター



問 自然環境に恵まれ、眺望もよいが、山頂への道路が大変傷んでいる。手近な登山道として整備が必要ではないか。

答 市民の憩いの場として多くの人に安全に利用してもらおうよう、舗装補修等維持管理に努める。

問 山陽清掃センターの跡地利用はどうするのか。

答 地元協定書等で今後協議する。

問 山陽・赤坂清掃センターが26年4月に閉鎖されることになっているが、跡地の利用方法はどのようになるのか。市民は、解体時に猛毒なダイオキシンが飛散

する恐れがあることを非常に心配している。また、固体状内壁付着物質除去作業用水の処理については、地下に浸透しないよう十分な配慮を願う。解体時の方法等もどうするのか尋ねる。



川手辰夫議員

問 災害時の備蓄について 市は地域防災計画により実施

答 市は地域防災計画により実施

問 23年3月11日に起きた東日本大震災のような想定外の大災害がいつどこで起こるかわからない。市として災害時の対応はどのように考えているのか、備蓄等ほどの程度あるのか尋ねる。

答 風水害、震災等の有事の際の対応は、市の防災計画により、市の地域並びに地域住民の生命、身体および財産を災害から保護するため、防災の第一的な責任者として県等の協力を得て防災活動を実施することとなっている。市の備蓄量は、本庁・赤坂支所・熊山支所・吉井支所合わせてアルファ米が1350食、毛布が124枚、赤坂支所に生理用品が156セット、小児用紙おむつが180枚、大人用おむつが48枚。本庁に簡易ト

問 山陽・赤坂清掃センターが26年4月に閉鎖されることになっているが、跡地の利用方法はどのようになるのか。市民は、解体時に猛毒なダイオキシンが飛散

する恐れがあることを非常に心配している。また、固体状内壁付着物質除去作業用水の処理については、地下に浸透しないよう十分な配慮を願う。解体時の方法等もどうするのか尋ねる。

答 解体工事においては、ダイオキシン類が周辺に拡散しないよう適切な保護具を使用し、関係法令を遵守して施工する。

問 国保税の赤磐市独自の減免制度を

答 財政面、公平性等の問題で現在は考えていない



福木京子議員

収体制の充実に取り組む。減免については、法定減免がある。単市での減免制度の拡充は、財政面、公平性、互助制度等の観点から現在考えていない。

低い所得の高齢者が入れる施設の整備を

問 住み慣れた地域に安い高齢者住宅があるので、高いか。提案として、県営住宅の空き家などを集約して作れないか。

答 国民年金のみの高齢者は、有料老人ホームなどの施設入所は困難である。特別な場合は、老人福祉法で対応している。提案の高齢者住宅は有効な手段と思う。今後、民間供給とのバランスを考慮し、高齢者が安心して生活が営めるよう関係機関へ働きかける。

問 国保税が高くて払えないという相談がたくさん寄せられる。滞納者には理由があり、無理やり取り立てるべきではない。全国的には、自治体独自の減免制度を設け、払いやすいように努力をしている。県内でも実施の自治体がある。赤磐市もぜひ独自の減免制度を作るべきではないか。

答 指摘を受けたケースについても、相談者の立場に立った相談体制、微

草刈など町内会等との覚書の見直しを

問 町内会が高齢化のため急傾斜のり面などの草刈が大変になっていく。町内会などとの覚書の見直しが必要ではないか。

答 高齢化が顕著になっており、維持管理が難しくなっていることは聞いています。地元で対応できない高木の剪定や危険な面などは、現地確認後に地元と調整して市で実施する方向で検討する。



藤見苑 (和気町)

問 事業推進に「住民説明」が欠落してきた理由は

答 反省して、理解してもらえるよう努力する



原田素代議員

(計画・実行・点検・見直し)が実施されるべきである。しかしこの間行ってきたと思わざるを得ない。これが住民の協力で事業が実施できない原因ではないか。

答 その考え方は必要と思っている。しかし適切な運用が十分でないものもある。職員にはチェックがきく体制をとるようにする。

合併浄化槽の補助金見直しはまだか

問 平成22年12月議会、23年6月議会、9月議会と系統的に、公共下水道は財政的に見通しが立たないのだから、一刻も早く、生活改善・水質環境の改善

のため、合併浄化槽を広げようと提案してきている。昨年の9月議会では市長は「住宅リフォーム補助金と組み合わせると合併浄化槽の補助金見直しに取り組みたい」と答弁している。いつまで見直し作業にかかるのか。

答 下水道の認可区域は、当初の予算額をかなり減らさざるを得ない状況である。水質環境を守るためには合併浄化槽の設置は必要と思っている。いろいろなバランスを考えながら、リフォーム補助金も使えるように検討をしているので、まだ時間がかかる。



まちづくり塾

問 桜が丘西2丁目に児童公園を

答 財源確保を含め検討する



松田 勲議員

協議をしてもらい、こういう場所に公園を設置したいということで要望があれば、財源確保を含めて検討する。

防災士の育成助成制度と自主防災組織の強化

問 県の地域防災力強化

比較的に新しい町内で、若い人が増え、子どもが増え、子ども会の活動も大変にぎやかにやっている。

しかし、高台もあり、町内のほとんどの道路が長い斜面になっている

上、安心して遊べる公園や遊具が全く無い。ぜひ児童公園の設置に前向きに取り組むべきではないか。

町内会のほうで十分

通学路の安全確保と歩道整備等について

問 山陽小、高陽中、庁舎周辺の歩道整備はどうなっているのか。

子どもたちの命を守るためにも、保護者や交通ボランティア、先生等ともう一度総点検を行い、危険なところは早急に改善策を考え、進めていくべきではないか。

答 5月末現在で把握している安全整備が必要な通学路は58カ所。

通学路の安全確保については、教育委員会部局と連携をとって、取り組んでいく。

庁舎周辺、小・中学校間の道路については、早急に検討をしている。



桜が丘西2丁目集会所周辺

問 不育症の助成制度を導入すべきでは

答 今年度中に実施できるよう準備を進める



治徳義明議員

りも新しい命を守るために助成制度を導入すべきでは。

答 今年度中に実施できるように準備を進める。

社会資本の老朽化対策について

問 防災力の強化には、

子どもが欲しくてもできない不妊症や不育症で悩む人々は、精神的にも経済的にも大きな負担がある。特に経済的な理由で諦めるケースが多くある。不妊症には、岡山県にも赤磐市にも助成制度があるが不育症にはない。不育症は、適切な検査と治療を受ければ85%出産可能である。少子高齢化対策・子育て支援の一環として、そして何よ

自助・共助・公助の取り組みが重要である。しかし、公助の基盤となっている橋梁や道路など社会資本（インフラ）の多くは高度成長期に集中的に整備されており老朽化が進んでいる。この社会資本の老朽化による防災力の低下が指摘され大きな課題になっている。防災総点検、そして予防的に早めの修理や改修など老朽化対策が必要では。

答 橋梁（15m以上）は76橋ある。点検を行い50

橋は劣化が進んでいることが確認された。その中で特に劣化が著しい7橋の長寿命化の工事を行った。橋梁、道路、擁壁、水道、下水道施設等、今後点検等を徹底して、保全、補修計画を立て実施していく。

学校施設の非構造部材の耐震対策について

問 学校施設の安全性の確保は最重要課題である。校舎や体育館の構造体の耐震化は順次進められているが、照明機器、天井、窓といった非構造部材の耐震化が課題である。非構造部材の落下は、軽微に見えても危険なことに変わりはない。非構造部材の耐震対策は、

順次取り組んでいく。



橋の長寿命化工事

問 市民病院の診療所化は誰が見ても変更である

答 医療体制の整備に努めるとの内容は変更してない



川澄章子議員

【問】 地域審議会は合併協議会で平成27年3月31日までの設置となっており、協定内容を変更する時はあらかじめ意見を聞かなければならないことを知っていたのか。県や総務省にも報告の義務があると思うがしたのか。

【答】 新市建設計画の変更、執行状況などその他市長が必要と認める事項について市長の諮問に依りて審議し、答申すると

いう認識はしている。しかし、熊山の病院、吉井の診療所の引継ぎは終わっている。そして建設計画の「住民のニーズに即した医療体制の整備に努める」との内容を変更しているとは思っていない。変更する時は審議会の意見を聞き、変更した時は県、国へ報告する。

【問】 市民病院の約7億円の予算のうち、市民が利用して入る国保会計や後期高齢者保険からの収入は何%になるか。これが民間に流れるのはもったいない。そして国の助成金1億円以上の収入で地域の医療の充実と地域の活性化にも繋がってきた経済効果をどう見ているか。

【答】 平成22年度の決算額は約7億800

【問】 市長はベッドの数は減らさないと言うが、地域の声はベッドのある病院だ。県と交渉して譲渡は19床にしてもらい、30床の市民病院にできないか。

【答】 深刻な医師不足から病床を有した病院として続けることは厳しいので無床の診療所に決定した。20床以上は病院として区分されるため継続は難しい。



市民病院内のリハビリ室

問 吉井の河原屋井堰で小水力発電を

答 井堰改修工事の中で取り組めるか検討する



樺野志郎議員

【問】 岡山県内の施設で岡山市、倉敷市、津山市など28件が計画に上がっているが、赤磐市は残念ながら1件も入っていない。メガソーラーは24番目にランクされたが、小水力発電はまだスタートラインに立っていない。市長の地元河原屋井堰が活用できるのではないか。河原屋井堰は現在故障しているが修理に便乗して小水力発電も設置するように県や国に働きかけてもらえないのか。

【問】 例えば上下水道で発電する研究が進んでいるが、岡山市等の情報をつかんでいるのか。

【答】 岡山県においては、総社市での小水力発電の実証実験や、小水力発電を検討している市町村に対して調査費の一部を補助する取り組みが始まっている。

【問】 河原屋の井堰は、意見ももらったので可能かどうか調査する。下水などの発電設備はスマートタウン構想の中で今後とも研究をしていきたい。

【問】 市長の生まれ故郷の河原屋に大きく立派な井堰があり、すぐそこに目が行くはずで思いつかないというのは認識がたりないのではないか。河原屋井堰の改修工事には国や県の補助金が必要なわけで、改修工事があるというのは千載一遇のチャンスでもある。ぜひ前向きに取り組んでもらいたい。

【答】 河原屋井堰は大規模な改修工事を行わなければならない状況で今年度から調査をし、国の予算をもらい実施したい。3年程度かかると思われるが、その中で小水力発電に取り組みめるかどうか検討させてもらいたい。



とうとうと水の流れる河原屋井堰で小水力発電を

問

英国庭園の今後を
どのように考えているか

答

入園者5万人を目指して
やっていく



行本恭庸議員

としており、駐車場はガラガラの状態である。庭園整備も目に余る部分もたくさんある。見物客の声の中には、がっかり庭園だったとの声も聞く。庭園を続けていくならば今以上の利用者がふえる庭園にする考えはあるか。

答 本年度駐車場の整備を実施する。市内に要となる宿泊施設がなく、日

の周遊拠点をつくる必要があると考え、整えているものである。現状の駐車場では、進入路も狭く、バラの最盛期には一般車両で満車となり、観光バスは乗り入れを断っている残念な状況もある。より多くの人に1番よい時期に庭園を見てもらうためにも、本整備は有効であると考えている。庭園全体の整備は地元区長を始め、地域の人々の意見、提言を得ながら継続的に管理し、客や市民の声を聞きながら、改善すべきところは改善していく。

問 庭園の運営費の内容は昨年とほとんど変わっていない。なぜ新たな場所へ駐車場を急いでつくるのか。3カ所ある中で2カ所は整備されているが進入路は狭く、残る1カ所は県道沿いで、大型バスも対応でき申し分ないが整備されていない。

英国庭園はバラがメインの庭園である。1年のうちに見ごろは2カ月もない。あとの期間は閑散



英国庭園の整備されていない駐車場

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員5人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。



赤磐市議会

岡山シーガルズを応援する

赤磐市議会議員連盟を発足しました！



シーガルズとの記念交流会

赤磐市議会は、平成24年6月1日開催の全員協議会で、バレーボールV・プレミアリーグ女子に所属している岡山シーガルズを応援する議員連盟を発足しました。議員全員が公式ファンクラブである「岡山シーガルズを応援する会」に入会し、リーグ観客動員への協力や各種イベント参加で支援していくことを計画しています。

また、議員連盟の発足にあわせ、6月22日に議員連盟発足記念交流会を開催し、シーガルズの選手との交流を行いました。

赤磐市とシーガルズとの出会いは平成13年までさかのぼります。シーガルズが岡山に拠点を移してから、山陽ふれあい公

園総合体育館を練習会場として活動し、平成17年に開催された「晴れの国おかやま国体」では赤磐市のバレーボール競技を大きく盛り上げるとともに、大会史上初の4連覇を成し遂げました。

ネ・北京オリンピックの日本代表として活躍した栗原恵選手が新しく加入したことで、チーム全体のムードも盛り上がっています。

今年、大会史上初の4連覇を成し遂げました。今年、大会史上初の4連覇を成し遂げました。

赤磐市議会としても、シーガルズのより一層の飛躍を願って応援するとともに、赤磐市のスポーツ振興並びに地域の活性化をとくに目指して活動していけるよう頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



昨年11月に行われたイタリア戦

交通安全

推進大会

「ワースト2位からの脱却に向けて」

赤磐市交通安全推進大会が、平成24年7月14日（土）にくまやまふれあいセンターで開催されました。

式典は大正琴の演奏で幕を開け、交通安全功労者への感謝状贈呈や、交通安全啓発マスコットキャラクターデザインの表彰、交通安全宣言など



交通安全推進大会のようす

が行われました。

また、式典後の講演会では、加古川刑務所の三野 教育専門官より「交通受刑者の生活」と題して、交通受刑者の生活や心情や社会復帰に至るまでの教育についての講演がありました。

現在、赤磐市では岡山県下交通危険度ランキングワースト2位返上にも駆け取り組んでいます。私達一人一人も日頃から交通安全を心がけましょう。

9月定例会のお知らせ

次回9月定例会は、9月4日から9月28日まで25日間の会期で開催予定です。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

インターネットで本会議の配信と会議録がご覧になれます



本会議配信を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

会議録を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

- ※ インターネットでの本議会録画配信は、平成23年6月第3回定例会以降のものとなります。
- ※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
- ※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

編集後記

7月7日未明、集中豪雨のため、砂川が越水して正崎地区106世帯に避難勧告が出されるなど、市内各所で大きな被害がもたらされました。被害に遭われし皆様にお見舞い申し上げますと共に、街づくりの必要性を痛感いたしました。議員一同全力で取り組んでまいります。さて、「読みやすくだより」をモットーに編集作業に取り組んでまいりました。十分お伝えできたでしょうか。今後とも、7人の広報委員力を合わせ頑張ってまいりますので宜しくお願いいたします。

議会広報編集特別委員

- 委員長 金谷 文則
- 副委員長 川手 辰夫
- 委員 海野 雅之
- 委員 川澄 章子
- 委員 北川 勝義
- 委員 原田 素代
- 委員 治徳 義明